

腎泌尿器外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 転移性副腎腫瘍に対する副腎摘除術における予後予測因子の検討

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 教授 小川 修

《研究の目的》

本邦における転移性副腎腫瘍患者の中でも、転移性副腎腫瘍の外科的切除により予後の改善が期待できる症例に対しては、手術を考慮する必要がある。しかし、転移性副腎腫瘍に対する副腎摘除術の治療効果に関する研究は乏しい。このため、日本人における転移性副腎腫瘍に対する副腎摘除術による予後予測因子の探索が必要である。

《研究期間》

症例登録期間:倫理委員会承認日から1年間

症例追跡期間:倫理委員会承認日から3年間

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006年1月1日から2016年12月31日までに関西医科大学附属病院で転移性副腎腫瘍に対して副腎摘除術を受けた全症例。

●研究に用いる試料・情報の種類

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 原発疾患名
- ④ 原発疾患の病理所見
- ⑤ 副腎手術前に他の転移の有無
- ⑥ 副腎転移画像所見(左右、サイズなど)
- ⑦ 術式(腹腔鏡、後腹膜鏡、開腹など)
- ⑧ 手術所見(手術時間、出血量、術中被膜損傷の有無、開腹移行の有無など)
- ⑨ 術中・術後合併症
- ⑩ 副腎の病理所見
- ⑪ 予後

《外部への試料・情報の提供》

データはExcelファイルへパスワードを設定した上でデータ集積施設の担当者へE-mailにて送付する。

《研究組織》

主任研究者 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 助教 後藤崇之

(データマネージメント担当者)

分担研究者 本学を含めた主要3機関と、他9施設

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-2089

研究責任者：腎泌尿器外科（職名）病院教授（氏名）木下 秀文

研究内容の問い合わせ担当者：腎泌尿器外科（職名）病院講師（氏名）杉 素彦